

コロナ禍における各国・地域の動向について (1月)

世界の新型コロナ感染者数 9,234万人超 1月14日現在

各国感染者数 (カッコ内は前日比)



世界銀行は1月5日、2021年の世界経済の成長率を4.0%と予測。新型コロナワクチンの普及状況次第で下振れするリスクも示した。

世界のコロナ対策に関連する財政支出や金融支援は、総額で1340兆円超。政府債務は過去最大。

新型コロナワクチン接種、米・英など30カ国以上で開始。一方で、感染力の強いウイルスの変異種「英国型」「南アフリカ型」などが世界70カ国以上で確認された。

英・EU間の自由貿易協定 (FTA) が1月1日暫定発効。

7500億ユーロ (約95兆円) 規模のEUのコロナ復興基金、2021年から運用が開始。

アジア開発銀行、2021年のアジア全体の経済成長率を6.8%と予測 12月10日公表。

【中国】EUとの投資協定に12月30日大筋合意。

【中国】1月18日から外資企業による投資の審査を強化する規則を施行予定。

【米国】約9000億ドルの新型コロナ追加経済対策が成立。12月27日付。米国政府の財政出動は計4兆ドル規模とGDPの2割となる。

【米国】バイデン氏を次期大統領に選出。1月20日に就任予定。

外国人の新規入国を12月28日から原則停止。11カ国・地域と合意したビジネス往来も1月14日から停止した。

1月13日より、全ての入国者に出国前72時間以内の新型コロナ陰性証明の提出と、自宅や宿泊施設での14日間の待機を要請。

今月のトピックス

欧州

アジア・大洋州

北米・中南米

日本